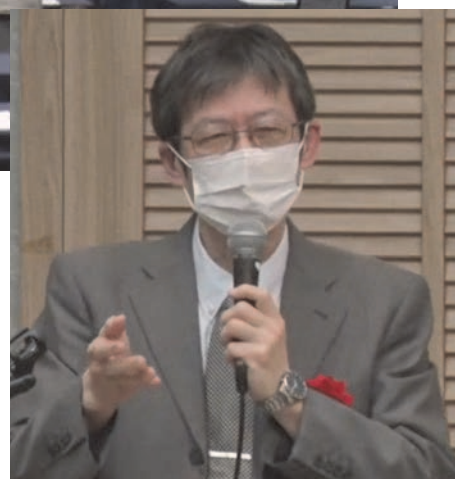




令和5年度 通常総会



令和5年度 通常総会 記念講演会
医療法人社団白梅会理事
静岡県地域医療構想アドバイザー
小林 利彦 氏

Contents

令和5年度通常総会開催	1
新任役員就任挨拶	2
静岡県健康福祉部長挨拶	3
静岡県医師会長挨拶	4
事業報告	5
研修会等のご案内	6

令和5年度通常総会開催

令和5年5月29日（月）、令和5年度の通常総会が開催され、「令和4年度事業報告、令和4年度収支決算及び財産目録承認」、「第7期役員の補充選任」が行われました。

また、通常総会後に理事会が開催され、「副会長及び専務理事の選定」、「会長の職務を代行又は代理する副会長の順序」が審議・承認されました。

令和5年3月31日に辞任した役員の後任として、副会長に岡本好史静岡済生会総合病院病院長、理事に大石 強 J A 静岡厚生連遠州病院病院長、専務理事に細沢光晴公益社団法人静岡県病院協会事務局長が選定・選任されました。今回選任された役員の任期は、令和5年5月29日から令和6年通常総会終結の時までです。

引き続き行われた記念講演会では、講師としてお招きした、医療法人社団白梅会理事、静岡県地域医療構想アドバイザーである小林利彦氏から「静岡県の医療を中長期的に確保するために～地域医療構想・医師確保・勤務環境支援の観点で～」というテーマでご講演いただきました。講師からは、医療計画、地域医療構想、医師確保対策、医師の働き方改革などの観点から、静岡県の医療の現状と問題点、今後の方向性などが示されました。

令和5年度通常総会 毛利 博会長(藤枝市立総合病院 藤枝市病院事業管理者)挨拶



本日は、ご多忙の中、お集りいただき誠にありがとうございます。令和5年度静岡県病院協会通常総会を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、幸い大きな感染爆発はなく経過しておりますが、まだまだ油断できない状況にあると考えております。医療は大きな転換点を迎えています。地域医療構想の更なる深化が求められており、来年度からの働き方改革の実施などを考慮しながら、人口減少社会に対応した医療提供体制の新たな道筋を模索し、さらに医師の地域偏在、診療科偏在と併せて検討しなければならず、解決すべき問題が山積しております。

子どもの出生数は、年間で、ついに80万人を切ったということです。国の予測では10年くらい早いスピードだと聞いていますので、これから少子高齢化がますます進み、やはり2040年位から急に人口減少の世界に入っていくということが考えられます。そのような状況下においても、私たち病院を管理する者とすれば、様々な事態を予測しながら自院をどうしていくか、連携をどうするかをしっかりと各地域で議論していただいて、患者さんが安心して医療が受けられる医療体制を構築できればと思います。

最後に、本日ご参集の皆様におかれましては、ご健勝で益々のご活躍されることを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

新任役員就任挨拶

副 会 長 岡 本 好 史 (静岡済生会総合病院 病院長)

静岡県病院協会副会長を拝命いたしました岡本好史でございます。高校までは静岡市で生まれ育ち、昭和63年に名古屋大学を卒業して外科医となりました。名古屋大学第一外科の関連病院を経て、平成20年から静岡済生会総合病院に勤務し、令和3年4月から病院長を務めております。

医療をとりまく厳しい環境に加えて、静岡県の医師不足も病院協会が取り組むべき重要な課題と考えています。副会長という大役を仰せつかり、若輩ではありますが故郷の静岡県の皆様が安心して暮らしていくために、医療や福祉の環境を整えていけるよう尽力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(おかもと よしちか)

理 事 大 石 強 (JA静岡厚生連遠州病院 病院長)

この度、静岡県病院協会理事に就任いたしました大石強です。私は平成元年に鹿児島大学を卒業し、浜松医科大学整形外科学講座に入局いたしました。令和元年にJA静岡厚生連遠州病院院長を拝命しております。県病院協会からは西部支部の副支部長と医療機能再編支援部会の副部会長も仰せつかっております。今後ますます少子高齢化が進んでまいります。コロナでこの3年間ほとんど進展がありませんでしたが、県民のニーズに応じた医療機能の分化は避けられない現在の課題となっております。多くの県病院協会会員の皆様と意見を交換しながら、微力ではありますが全力を尽くしてまいりますので何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(おおいし つよし)

専務理事 細 沢 光 晴 (公益社団法人静岡県病院協会 事務局長)

この度、専務理事を拝命いたしました。静岡県の地域医療を確保し、安心・安全な地域づくりをしていくためには、今後一層進展する少子・高齢化や人口減少などの社会構造の変化とこれに伴い変化する医療需要に中長期的に的確に対応していかなければなりません。静岡県病院協会事務局を預かる者として、役員、会員の先生方をはじめ会員病院の皆様方のご指導、ご支援をいただきながら、職務を全うしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(ほそざわ みつはる)

静岡県健康福祉部長挨拶



静岡県健康福祉部長

八木 敏 裕

静岡県病院協会の会員の皆様方には、日頃から、本県の医療行政の推進に、格別の御理解、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」ととなりました。県内で初の患者が確認されてから3年余りの間、県病院協会の皆様に多大な御尽力を賜りましたことに対し、敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、この場をお借りして、今年度の主な施策をいくつか紹介いたします。

まず、県では、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、国に先行し、本年4月に感染症対策の司令塔となる「ふじのくに感染症管理センター」を三島市に開設いたしました。センターでは、次の新興・再興感染症の流行時に適時適切に対応できるよう、各医療機関をはじめとする様々な機関と連携しながら、病床の確保などの医療提供体制を構築するとともに、専門人材の育成や感染症の発生状況に関する情報発信の強化など本県の感染症への対応力の向上を図ってまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

次に、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するため、働き方改革関連法、改正医療法が順次施行され、令和6年4月からは医師の時間外労働時間の上限規制が開始されます。県といたしましても、県病院協会に委託している「ふじのくに医療勤務環境改善支援センター」の機能強化を図り、アドバイザー派遣や同センターと協力した研修会、ワークショップの開催など、働き方改革に向けた取組を進め、医師が健康で働き続けられる勤務環境の整備を支援してまいります。

また、今年度は、静岡県保健医療計画、静岡県長寿社会保健福祉計画、ふじのくに健康増進計画等、各種計画の改定年度であります。

その中で、本県の保健医療に関する基本方針である第9次静岡県保健医療計画については、従来の6疾病5事業に、「新興感染症発生・まん延時における医療」を6事業目として追加するほか、新たに医療DXの取組等についても盛り込んでまいります。

今後も、計画間の整合性を図りながら、患者や県民の視点に立って、実効性の高い計画の策定を目指してまいりますので、県病院協会の皆様には、引き続き計画策定に係る各協議会の委員として御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

県といたしましては、必要なときに、安全で質の高い医療が速やかに受けられる体制を整備し、県民の皆様が生涯を通じて健康に安心して暮らせる医療の充実を図ってまいりますので、県病院協会の皆様の一層の御指導、御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

静岡県医師会長挨拶



一般社団法人静岡県医師会 会長

紀平 幸一

この度、貴協会会報第68号の発行にあたり、御挨拶の機会をいただきまして有難う御座います。日頃から貴協会には、県医師会といたしましても何かとお世話になり、重ねて御礼申し上げます。

私は副会長時代に、貴協会の理事として参画させていただき、貴協会とは如何なる物か、多少理解は出来ていた様に自負しておりますが、現在のような良好な関係に至ることは予想出来ませんでした。

さて、コロナ感染症も5類に移行し、多少実情が見えにくくはなりましたが、世を挙げての解放モードのためか、少しずつ感染者数の増加が見られ、まだまだ安心出来る状態ではないように思われます。せめて我々医療界だけでも今ひとつの辛抱が要るように思います。

私達は、この3年余のコロナ禍を通して種々の貴重な経験を学びました。特に大切な事としては、平時からの有事対応策の準備と、有事に対応出来る人材の育成が挙げられます。その他にも教訓は数多くありますが、いずれにせよ今回のこのコロナ禍を経験して得た教訓は、しっかりと肝に命じておかねばと心しております。

そして、今一つ、このコロナ禍を経験して得られた貴重な事は、病診連携の重要性であります。今回ほどそのことが認識され、連携がうまくいっている時は無かったのではないかと感じております。貴協会と私達医師会の関係は、究極の病診連携であると考えられます。今迄も互いに協力して地域医療の確保に努めてまいりましたが、今回のこのコロナ禍ほどお互いに手を取り合って対応せねば乗り切れなかったと思われる事態は無かったように思われます。

このコロナ禍は、病院の先生にとっては言語では言い尽くせない苦行であったでしょうし、試練でもあった事だろうと思われます。改めて、その御業績には心より敬意を表するものです。私達医師会としても病院の窮状に指をくわえていた訳ではありません。同じような状況下で発熱外来、検査協力、施設療養の支援、ワクチン接種事業への協力等々、医師会を挙げて出来る事に最善を尽くしてまいりました。そして、何事を為すにも貴協会と協力して事に当たってきました。その結果、お互い力を合わせないとこのような難儀は乗り切れない事を改めて認識させられました。今はお互いに対する理解、信頼、協力も最高の状態にあるものと認識しております。現在、貴協会から2名の方を本会の理事として推薦いただいております。いずれの先生方も、お忙しい身にもかかわらず、結構ハードな医師会の理事の業務にしっかり対応していただき、その功績は多大なるものがあります。心から感謝しております。何より、医師会の役割を理解していただけていることが、私としては大変喜ばしいことであります。

どうか、今の最高である両会の相互理解が、今後いつまでも続いていきますことを心より祈念させていただいて、私の挨拶とさせていただきます。

事業報告

1 【医療安全推進研修会（静岡県委託事業）】

医療機関におけるサイバー攻撃の事例と対策

令和5年6月19日（月）、静岡県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課の職員を講師に招き、「医療機関におけるサイバー攻撃の事例と対策」研修会を開催しました。研修では、実際にサイバー攻撃を受け、電子カルテをはじめとする院内システムがランサムウェアと呼ばれる身代金要求型コンピューターウイルスに感染し大きな被害が生じた、徳島県つるぎ町立半田病院の事例が詳細に報告されました。また、その対策も紹介されました。

当協会は、静岡県警察と令和5年3月16日に「サイバーセキュリティ対策に関する協定」を締結し、サイバー犯罪対策強化に努めています。

サイバーセキュリティ5か条+1

- 1 OSやソフトウェアを最新状態にする
- 2 ウイルス対策ソフトの導入
- 3 パスワードの強化
- 4 共有設定の見直し
- 5 脅威や攻撃の手口を知る
- 6 外部にバックアップ

出典：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

2 【要望活動】

物価高による負担増への医療機関に対する支援拡充に関する要望

令和5年4月4日（火）、当協会会長と県医師会会長との合同で静岡県の森副知事と面談し、「物価高による負担増への医療機関に対する支援拡充に関する要望」を行いました。その結果、静岡県の6月補正予算で、物価高騰の影響を受けている医療機関等を支援するため、各病院には1床当たり20千円の支援金が給付されることとなりました。さらには特定機能病院など特別な役割を担う25病院にはさらに1床当たり20千円加算されます。



令和5年度 第1回臨時総会、第1回医療機能分化連携促進研修会のご案内

- 1 日 時 令和5年8月29日（火）16時00分から18時00分まで
- 2 会 場 グランディエールブクトーカイ 4階シンフォニー
静岡市葵区紺屋町17-1（葵タワー内）TEL 054-273-5225

《第1回臨時総会》 時 間 16時00分から
議 題 第7期役員の補充選任に関する件

《第1回医療機能分化連携促進研修会》

時 間 16時30分から18時00分まで
演 題 今後の地域医療の方向性や医療の質向上のための取組（仮題）
講 師 東京医科大学茨城医療センター病院長
（前聖路加国際病院院長） 福井 次矢 氏

研修会等の開催予定 詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

医療安全推進研修会…勤務環境安全推進研修

- 第2回** ・日 時：令和5年8月23日(水) 16時00分～17時30分 (Web開催)
 ・演 題：「DNARについて (DNARの定義、取り方、ACPとの区別)」
 ・講 師：大阪青山大学健康科学部健康栄養学科 特任教授
 日本蘇生協議会 最高顧問 野々木 宏 氏
- 第3回** ・日 時：令和5年9月15日(金) 16時00分～17時30分 (Web開催)
 ・演 題：「医師の説明と患者理解の乖離による紛争とその対策」
 ・講 師：近畿大学病院安全管理部・医療安全対策室 教授 辰巳 陽一 氏
- 第4回** ・日 時：令和5年11月14日(火) 16時00分～17時30分 (Web開催)
 ・演 題：「院内転倒・転落防止とその対策」
 ・講 師：名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部 弁護士
 病院講師 北野 文将 氏

勤務環境改善研修会

- 第1回** ・日 時：令和5年9月4日(月) 16時00分～18時00分
 ・会 場：ホテルアソシア静岡 4階 カトレア
 ・テーマ：「特定行為研修修了看護師が活躍するための環境づくりについて」
 ・基調講演講師：国際医療福祉大学大学院 教授 副大学院長 福井トシ子 氏
 (公益社団法人日本看護協会 前会長)
 ・事例発表：藤枝市立総合病院 及び 聖隷三方原病院

感染対策支援セミナー

- 第2回** ・日 時：令和5年9月19日(火) 16時00分～17時30分 (Web開催)
 ・演題①：性感染症～梅毒も含めて～
 ・講 師：浜松医療センター 感染症管理特別顧問 矢野 邦夫 氏
 ・演題②：血液・体液曝露予防策と曝露時の対応
 ・講 師：藤枝市立総合病院 感染管理担当係長
 感染管理特定認定看護師 戸塚美愛子 氏

病院機能評価受審支援セミナー

- ・日 時：令和5年11月2日(木) 13時00分～16時30分 (Web開催)
 ・テーマ：病院機能評価3rd G: Ver3.0 項目体系のポイント
 ・講 師：公益財団法人日本医療機能評価機構
- | | | |
|-----------------|-----------|---------|
| ・内 容：①病院機能評価の概要 | 評価事業推進部 | 佐藤 直樹 氏 |
| ②診療サーベイヤの視点から | 診療サーベイヤ | 小林 利彦 氏 |
| ③看護サーベイヤの視点から | 看護サーベイヤ | 市川智恵子 氏 |
| ④事務管理サーベイヤの視点から | 事務管理サーベイヤ | 相馬 敏克 氏 |

保険医療機関・保険医のみなさま 東海北陸厚生局のSNSをご活用ください

東海北陸厚生局では、SNS（Instagram、YouTube）を活用して、その時期に必要な、医療保険制度や適正な報告・届出等についての広報を行っています。

趣旨をご理解いただき、東海北陸厚生局SNSの積極的なご活用をお願いします。

Instagram



事前にご利用のスマートフォン等にアプリのダウンロードが必要になります。

YouTube



※掲載のQRコードを読み取っていただくとそれぞれのページに移動します。

厚生労働省

東海北陸厚生局



東海北陸厚生局
公式ホームページ

家庭用常備薬等のあっせんをご利用ください。

健康維持、セルフメディケーションをサポートします。

お客様のニーズにあった商品を豊富に取り揃えております。



株式会社 諒和
Ryowa Co., Ltd



<https://ryowa.website>

〒535-0002 大阪市旭区大宮4-18-18

☎ **06-6952-7015**
(9:00~17:00 土日祝除く)

事業内容：事業所向け医薬品、防疫薬品、医薬部外品、食品(健康食品・非常食)健康関連用品、防災用品、日用雑貨、名入れ記念品等販売

全国的な看護師さん介護士さんに愛用されています。

一日の終わりに脚が疲れていませんか？

履くだけで脚スッキリ♪

リニューアルした「超美圧ソックスDX」お試しください♪

